ＢＳＯの
情報てんこもり

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

2022年08月18日号
制作・発行：㈱BSO　支援企画部
TEL：(06)6351-5836

◆今日存続出来るだけでは未来は保証されない

新しい生活様態やビジネス様態、「新時代の姿」がまだ安定せず猫の目のようにコロコロ変化する。過去のそれぞれの様態が新時代にいくらか残ることはあっても元に戻って来ることはなさそうだ。

かといって、これが新時代の様態になるといえるものもなく、短命や未完成の様態ばかり。様子を見ていると時代の流れから乖離するし、入り込むと消耗戦に参加することになり脱落することになりかねない。

いずれにしても生き残るのが難しい時代であることは確かなようだ。この現代に生き残るためには、やはり激変する社会に応えて行ける経営をして行かざるを得ない。差し当たって自分の活き方で経営を考えることをヨコに置き、また「出来る・出来ない」、「やる・やらない」ではなく、「兎に角やる」姿勢の社風をつくり、先入観を取り除き白紙の状態で個客から求められている機能、タイミング、品質、価格に応えるのに徹することに尽きる。真綿で首が締りジリ貧経営することから脱皮し、いまはこの「模索」の事業・経営に徹する新時代に活きる起点を創らねばならない。

◆ＢＳＯのビジネスマッチング研究会

長年取り組んで来たＢＳＯのビジネスリンク研究会は、時代的要請に応えるため技術提携に特化した次世代ビジネス開発・強化に絞って、ビジネスマッチング研究会に組み替えて９月から開催します。

◆シェア社会

多様性社会は、ある意味では、与えられたり型にはめられたりするのが嫌で、自分で自分の活き方を積極的にあるいは消極的に創る時代だといえよう。ましてや誰かに拘束されることは好まず、自由度を大切にする社会である。

購買行動、働くリズム、コミュニティ等はいままでの画一化から、経済効率社会へと大きく変質しだした。そのような社会は「シェア社会」といっていいだろう。この「シェア社会」は、一部の特定の人たちの、いわゆる「悪趣味社会」だったのが、いまは「時代を創る」人々の動きである。

◆ＢＳＯ研究生に活用の機会を

ハノイ工科大学、ホーチミン工科大学などのベトナムの工科系大学の機械工学、電気工学、電子工学、制御工学、情報工学、化学工学、食品工学、建築工学、土木工学などの学科を卒業し日本語検定Ｎ３に合格した技術者に３ヶ月（または６ヶ月）活躍の機会をつくってみませんか。

彼らは２０歳代のＢＳＯの研究生所員です。専門家の卵です。活動テーマはＢＳＯと協議しＢＳＯの管理下で仕事をします。

◆霧研２０２２年度秋期生募集

１０月開始です。鹿児島、高松、大阪、東京で開催です。

◆若手経営者経営勉強会、高松・大阪開催（C21/PT、経営革新塾）

新時代の企業づくりに挑戦します。

◆有人営業力パワーアップ研究会

「断られてからが営業」をモットーに、デジタル化の新時代で活躍し結果を出せる営業担当者を目指します。

西山・永尾のコーディネートで相互啓発する場です。

◆特定の出来る人に頼るだけではやっていけない

昔は出来る人の頑張りに頼っていた。いまは沢山の仕事に分解され、分担して役割を果たさせる。意味は違うが、総力戦である。出来の悪い人ややる気のない人でも、必要とする作業を必要とするタイミングできちんとやって貰わないと一つの役割が予定道りに全う出来ない。

全員を如何にやる気にさせ、予定通りに成果が出せるよう、いかにやる気が出る職場をつくるかが現代の課題になって来ている。

◆程よい距離のある関係

人の能力を発揮して貰う事がますます重要になって来ている現代、人間関係の拙さで社員のやる気を低下させていることが増えており対策が必要になっていることが少なくない。

過去の労務管理などを持ち出して対処出来なくなっている。諦めるわけにもいかず、程よい距離を持ちながら取り組む新しい労務管理を編み出す必要がある。

◆ＩｏＴ研究会

１回目はラズパイの動かし方、２回目はラズパイの組立て方、３回目は管理無人化を目指して「カメラ」をセンサーに見立てＩｏＴ化の可能性を検討しました。

定例会合だけでは終わらないことが多く、補講があるのもこの研究会の特徴になりそうです。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ http://www.bso.co.jp へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはｓｈｉｅｎｋｉｋａｋｕ@ｂｓｏ．ｃｏ．ｊｐまで）